



学校だより

令和元年 8月27日
8・9月号
調布市立第一小学校
校長 川島 隆宏

<http://www.chofu-schools.jp/chofu-1sho/>

TEL042(481)7636

「学ぶ」ということ

校長 川島 隆宏

今日から2学期が始まりました。各御家庭では、今年の夏休みをどのようにお過ごしになったのでしょうか？今年の夏は昨年と同様「災害」という表現を気象庁が使うほど猛暑が続き、夏季水泳指導やふれあいプールが暑さのために中止になりました。ここ数年で、夏休みがこれまでと変わってきたように感じます。とは言うものの、夏休みと言えば、子どもにとっては大きな楽しみでもあります。日頃できないことに十分に取り組むことができたのではないのでしょうか？夏休みの定番である「自由研究」も、テーマ選びから進め方など、自分で考え、計画を立てて取り組むという、これから子どもたちに必要な力を育てていくためには、とても大切な学習です。



話は変わりますが、私が中学校3年生で受験を控えていた頃、社会科の勉強は、歴史や地理等に関する多くの事柄を覚え、英語であれば、単語や熟語を覚えて（ ）の中に適切な語を入れることができるようになる暗記中心の勉強であったような記憶があります。私だけなのかも知りませんが、社会科の勉強を通して、現在の世の中や我が国の将来の在り方について考えたり、英語では、お互いの考えをやり取りしたりするというコミュニケーションのための勉強にはなっていませんでした。極端な言い方をすると、試験で正解を書くことができるための「勉強」であったように思います。

来年から全面実施される新学習指導要領には、今後の人材育成の方向性が示されています。そこには、まず、「知識よりも資質・能力を育成する教育」、そしてそれは、協働により課題解決できる資質・能力であり、社会総がかりで行う教育への質的転換を図るものであるとされています。知識はただ覚えるだけでなく、課題解決のために活用してはじめて生きて働くものです。また、一人で課題解決をするのではなく、グローバル社会においては、国内外と協働（そのためにはコミュニケーション能力が必要）して取り組み、そして、課題を解決するために、それらを総合して、「考え」、「判断」し、「実行」していく力を子どもたちに身に付けさせていくことが教育に求められています。

中学生の私は「勉強」はしていたのかも知りませんが、勉強した事柄から物事の見方や考え方を身に付け、それらを使って課題を解決したり、新たな価値を創造したりするという「学び」にはなっていなかったように思います。

現在の子どもたちは、国際化、情報化、高齢化が急激に進展していく世の中で大人になっていきます。第一小学校における教育活動も、将来必要となってくるこれらの力を子どもたちに付けることのできる学習展開となるよう取り組んでいきたいと思っています。

なお、近隣でのマンション建設工事や新しい店舗の開店に向けた準備が進んでおりますので、安全に十分注意するよう子どもたちに指導してまいります。

御家庭や地域においても子どもたちの見守りに御協力いただくとともに、今学期も本校の教育活動に御理解、御協力いただきますようお願いいたします。



8・9月の生活目標 **規則正しい生活をしよう**

2学期を迎え、新たな気持ちで頑張ろうという意気込みが子供たちの様子から伝わってきます。長い休み明けに生活や行動が乱れることのないよう、改めて規則正しい生活の大切さを伝えていきます。元気に学校生活を送ることができるよう、また、学校のきまりを守ることやしっかり挨拶する大切さについては継続して指導していきますので、御家庭でも御協力をお願いいたします。